

# 公民館マチネ 第12回

# 公民館マチネ

2009年

# 12月6日(日)

## 午後2時開演

午後1時30分開場

午後3時終演予定

## 函館市公民館

青柳町12番17号

高田屋嘉兵衛像の坂を登り左手の白い建物

函館バス臨時便・公民館マチネ号運行!

駐車場あります。公民館前にてご案内

# 1,000円

本公演は函館からトラストの助成を受けています。  
収益金は公民館改修へ向けた活動に充てられます。

### チケット販売場所

公民館マチネ事務局 (ご予約)

松柏堂フレイガイド各店

ヤマハアベニュー五稜郭 (行啓通り) 0138-52-2982

ホテル函館山 (公民館向かい) 0138-23-7237

Cafeオタジィラ (まちセン内) 090-2871-5515

### 後援

函館市 函館市教育委員会  
財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

函館音楽協会 NHK函館放送局

北海道新聞函館支社 函館新聞社

函館山ロープウェイ(株)FMいるか

NCV函館センター

ヤマハミュージック北海道函館店

河合楽器製作所函館ピアノセンター

協賛 函館バス

# Cembalismi! ✨

# ピアノソナタの午後

チェンバロ

ヴァイオリン

パーカッション

森洋子

丹沢広樹

小田桐陽一

+フルート

+クラリネット

松石隆

岩平尚子

## Astor Piazzolla

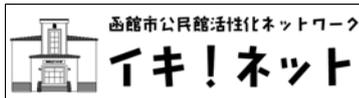
リベルタンゴ/タンゴの歴史

アディオス・ノニーノ/アヴェ・マリア

タンゴエチュード第3番



150周年  
函館開港



函館市公民館活性化ネットワーク

イキ! ネット



函館は、文化芸術の盛んな街です。近年、文化芸術振興がさらに進みましたが、函館市芸術ホールの利用率が90%に達するなど、市民の文化の交流や発信をする拠点が足りず、振興が頭打ちになろうとしています。中長期的には、新ホール建設も望まれますが、早急に、文化拠点を確保する必要があります。

函館市公民館では、かつては音楽会や講演会などが開かれ、文化拠点として使用されていましたが、老朽化等の問題があり、現在は生涯学習施設としての利用にとどまっています。現状、利用率が30%台と少ないので、文化拠点としての機能を付加して有効利用することが可能です。

そのためには、必要な改装(リノベーション)を施し、生涯学習施設としても文化拠点としても利用しやすくして欲しいというのが函館市公民館活性化ネットワーク(イキ!ネット)の願いです。これにより歴史的建造物という地域の個性を生かした文化芸術の創造、函館在住演奏家・市民が主役の文化芸術の振興、西部地区・ひいては函館全体の文化芸術を活かしたまちづくりが実現すると考えております。

公民館マチネ(マチネとはお昼の気楽な演奏会の意)は、イキ!ネットが今、最も力を入れている事業です。上質の音楽を楽しみながら、函館市公民館のことを多くの市民や演奏者に関心を持っていただきたいと思っています。また、函館市公民館を利用する際に問題となる点をユーザーとして解決するための実験の場でもあります。



## 公民館前で、楽々乗り降り。函館バス協賛『臨時便・公民館マチネ号』

■経路■ ※終演後、逆ルートでも運行します。

昭和営業所13:00→昭和ターミナル13:02→新都市病院正門13:03→石川学園台13:04→エフロード前13:05→石川町中央13:06→石川町会館前13:07→石川第一公園13:08→北美原2丁目13:09→美原台団地13:10→美原台団地入口13:11→美原台東13:12→北美原小学校前13:13→養護学校前13:14→附属中学校前13:15→美原3丁目13:15→渡島支庁13:16→海洋気象台前13:17→亀田支所前13:18→富岡13:19→東富岡13:20→田家入口13:22→警察署前13:23→公園入口13:25→五稜郭(日本生命ビル)13:27→テオーパポツ前(テオー向かい)13:28→共愛会病院13:30→中の橋13:31→大縄町13:32→昭和通13:33→若松町会館前13:35→函館駅前13:40→函館市公民館前13:47

※バス借り上げ代の一部として、片道200円(函館駅は100円)を下車後、イキ!ネットが集金します。

接続や停留所の場所などのお問い合わせは、函館バス昭和営業所 0138-41-2954



「Cembalism!」とは、「Cembalo+ism」「チェンパロ+リズム」という2つのコンセプトを合わせた造語。パロックに限定せず、「いわゆる一つのチェンパロ主義」に基き、ジャンル問わずに「冒険」しちゃおう!というチェンパロ、ヴァイオリン、パーカッションのユニット。

### チェンパロ 森 洋子

福岡市出身。6歳よりピアノを始める。福岡女学院高等学校音楽科、愛知県立芸術大学及び大学院(ピアノ科)修了後、チェンパロに転科。桐朋学園大学研究科古楽器科修了。中学2年頃から、ビートルズを始め、吹米のロック・ポップスを、大学時代は伝統邦楽やジャズへと興味は移るものの、様々な音楽を聴き続ける。大学院修了試験でバッハ「ゴールドベルク変奏曲」を演奏したのを機にチェンパロに興味を持ち、以後、チェンパロ演奏を専門とする。1991年、アメリカ Southeastern Historical Keyboard Society主催チェンパロコンクールで優勝。'93年、アメリカ議会図書館主催コンサート出演。同年、「第7回古楽コンクール<山梨>(チェンパロ部門)」にて第3位。'94年より'06年まで国立音楽大学非常勤講師。(通奏低音、チェンパロ奏法)'06年より函館に本拠を移し、ライブ・CD制作、「通奏低音塾」の主宰等を通じ、活発な活動を行っている。パロックは言うまでも無く、今までに出会ってきた様々な名曲の演奏を通じて、チェンパロの魅力伝えることに力を注いでいる。'07年 CD「バッハ インヴェンションとシンフォニア全曲」をリリース。

### パーカッション 小田桐 陽一

函館市出身。10歳より打楽器を始め、13歳よりドラムを独学で始める。14歳からバンド活動を始め、15歳でライブ初出場。以後様々なバンド活動を続ける。1994年から、ヤマハポピュラーミュージックスクールドラム科講師。現在所属しているバンドは、NOROOM PROJECT、アンサンブル木精、花かたアンリミテッド、Cembalism!, ポルガル等。ジャズファンク、ボサノヴァからクラシック、フラメンコまで、幅広い音楽ジャンルに常にチャレンジし続けている。最近ではカホンでの演奏回数が増え、更に自作作曲によりカリンバ、ハンマーダルシマの演奏によるソロ活動も開始。美味しいものに目がなく、ワイン・温泉・旅をこよなく愛する叙情的口マン派野郎である。

### ヴァイオリン 丹沢 広樹

1977年静岡県沼津市に生まれる。北に富士山、南に駿河湾を望みつつ育ち、両親より教え込まれた自然との接し方「海編」「山編」は現在でも生活として演奏の礎となっている。5歳よりヴァイオリン演奏を始め、旧西ドイツへの渡航も経験。楽器制作も高校より経験する。第15回静岡県学生音楽コンクール弦楽器部門第1位、室内楽協会会長賞受賞。東海大学教養学部芸術学科音楽学過程に進学。ヴァイオリンを高田あずみ、古楽演奏法や解釈法をヴィオラ・ガ・ガンバ奏者の清水哲雄に学び、ガット弦による響きに魅了される。同大学卒業後、パロック・ヴァイオリンでの遊学開始。リコーダー奏者古橋潤一氏の下で初期イタリアンパロックのアプロジェクトへ参加。ヴァイオリン奏者小野萬里との出会いはその後の活動の大きな方向付けとなる。イタリアにてエンリコ・ガッティ氏のサマーコースのディアロマを得、クラウディア・コンプス女史にも学ぶ。これまでに各地の音楽祭やCD・FM等のレコーディングに参加する一方、現代スタイルのヴァイオリンでもソロや室内楽にて時代やジャンルを超えて演奏し続ける。楽器を「肉声を発する体の一部」とし、奏法研究を欠かさない。アンサンブル「ソナール・カンタンド」「コントラポント」メンバー、パロックバンド「ラ・パルテンツァ」主宰等、東京を中心に全国で活躍中。

### フルート 松石 隆

東京出身。フルートを10歳よりはじめた。1995年第5回日本木管コンクール特別賞、函館音楽協会奨励賞、函館市文化団体協議会青麒麟ほか受賞多数。フルートを、一戸敦、中山耕一氏に師事。函館を中心に、活発な演奏活動を行う。函館市公民館活性化ネットワーク代表。クレアシオン副代表。東京大学大学院修了。北海道大学准教授(水産資源学・鯨類学)。博士(農学)。

### クラリネット 岩平尚子

函館市出身。12歳よりクラリネットを始める。武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科クラリネット専攻卒業。クラリネットを藤井一男、兼氏康雄、ピアノを丸山伸子、谷藤有紀、猿木宣子の各氏に師事。今までに、函館市青少年芸術教育奨励事業音楽部門銀賞、函館音楽協会奨励賞を受賞。中学・高等学校生の指導、個人レッスンをを行うかたわら、ソロ、室内楽を中心とした様々なコンサートに出演し演奏活動を行っている。函館音楽協会幹事、公民館マチネ運営委員、クレアシオン会員。